

・文章を読んで、質問に答えましょう

つばめは、春になると日本へやってくる渡り鳥です。人が住む家の軒下や、駅、商店の入り口などに巣を作ることよく知られています。

つばめの巣は、泥と枯れ草を唾液で固めて作られます。オスとメスが協力し、何度も泥を運びながら少しずつ巣を作ります。人が多く出入りする場所を選ぶのは、外敵から卵やひなを守るためだと考えられています。

巣が完成すると、メスは卵を産み、およそ2週間でひなが生まれます。親鳥は、ひなが巣立つまで何度も餌を運びます。つばめは同じ場所へ戻ってくることも多く、毎年同じ巣を修理して使うこともあります。

1. つばめは、どのような場所に巣を作りますか。

( )

2. つばめの巣は、何を使って作られますか。

( )

3. つばめが人の多い場所に巣を作るのはなぜですか。

( )

4. 卵を産んでから、ひなが生まれるまでどのくらいかかりますか。

( )

5. 親鳥は、ひなが巣立つまで何をしていますか。

( )

★発展コミュニケーション

- ・ つばめの巣を見たことがありますか。どこで見ましたか。
- ・ 春に、あなたが楽しみにしていることはありますか。

氏名 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日( )